

伊勢市立伊勢図書館長賞

「認知症ってどんな病気？」

なかい

しょうた

小俣小学校 四年生 中井 翔太

ぼくは、認知症について調べました。

調べる前は、頭がいたくなる病気だと思
っていました。

お年よりがかかる病気で、治らなくて、
病気になった人は、毎日薬を飲んでい
ると思っていました。

でも、本当は、まぼろしを見たり昔と今
がまざってしまったたり、物を忘れる物忘れ
や、今までやっていたことができなくなっ
たり、急におこりだしたり、してきます。

物忘れと言ってもふつ々の物忘れと認
知症の物忘れとは度がちがいます。たと
えばふつ々の物忘れは、水曜日と火曜日
をまちがえるとかなのに認知症の物忘れ
は春と秋をまちがえると言っくぐらいの差
です。



どんな人がかかる病気だと言うと、だいたいがお年よりの人が多いですが若い人でもかかる病気でもあります。

認知症になった人はどういう生活をしているのか考えました。家族の人、近所の人、ボランティアの人、老人ホームの人たちに助けてもらいながら生活している。

認知症の人が近所にいたら、どうしたらいいのか二つ考えました。

一つ目は、道でまいごになっていたら、その人の家を知っているならその家まで送ってあげてほしいです。

二つ目は、やさしくたいおうしてほしいです。理由は、認知症とは、自分の言っていること言われたことが分からなくなるこ

とがあるからです。もし、自分の家族が認知症になったらぼくは、おこったり、ふあんになったり、楽しくなくなったり、悲しくなったりするかもしれません。

だから今回学習したことを思い出して認知症の人にやさしくしたいと思います。みんなに知ってほしいことがあります。認知症は、「のう」の病気だからおこらないでやさしくゆっくりと認知症の人がこまらないように、なるべくくれいせいに話してあげてほしいです。